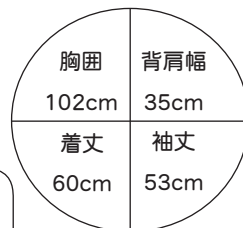


■出来上り寸法



■素材(商品番号・商品名・色番号・数量)

210	ベーシック スラブ	(40g玉巻)	1	550g
73	ロングスラブ段染め	(200g玉巻)	7305	320g

■ゲージ(10cm平方)

模様編み 13目×15段

■使用針・用具

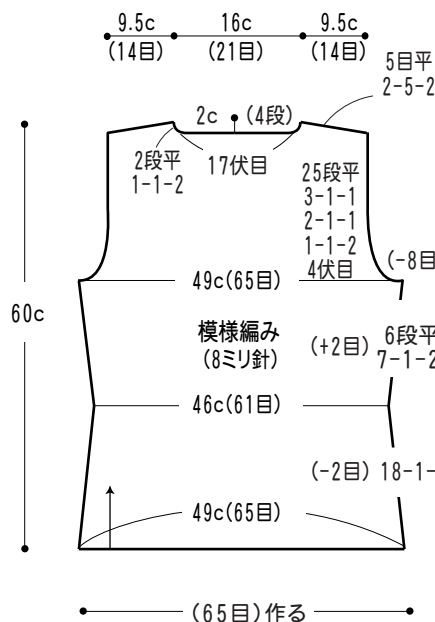
2本棒針8ミリ・カギ針10/0号
★ボタンは作品集に掲載のA-119を使用しています。(直径23mmを5個)

■編み方ポイント

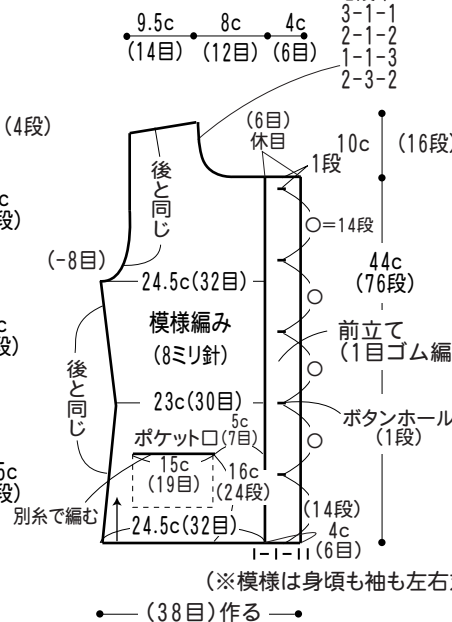
- ★ベーシックスラブとロングスラブ段染めの2本どりで編みます。
- 身頃・・・指でかける作り目で編み始め、続けて模様編みで編みます。脇は1目内側でねじり増目、端立てで減目で編みます。袖ぐり、衿ぐりは伏目と端立て減目、肩は引き返し編みして目で残します。前身頃は前立ても同時に編み、ポケット位置は別系で編んでおきます。右前身頃はボタンホールを作りながら編みます。ポケットは別系をとりてポケット口はカギ針で縁編みを編み、ポケット裏はメリヤス編みを編みます。
- 袖・・・身頃と同様に編み始め模様編みで編みます。袖山は伏せ目で編みます。
- まとめ・・・肩をかぶせはぎします。脇、袖下はすくいとしをします。衿は拾い目をして1目ゴム編みを編み伏せ止めをします。袖は身頃に引き抜きとしてつけます。



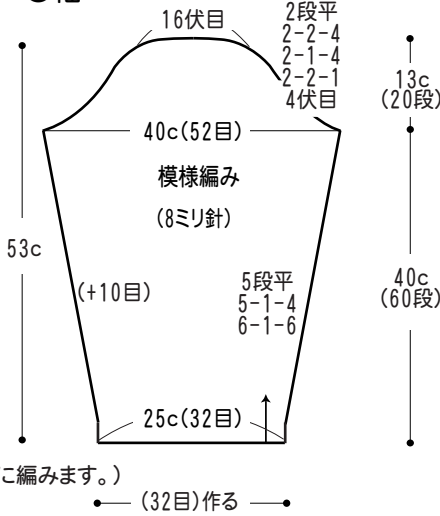
●後身頃



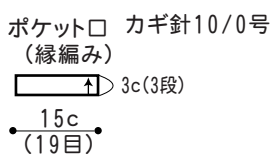
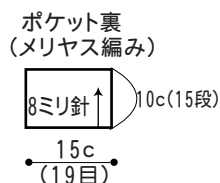
●前身頃



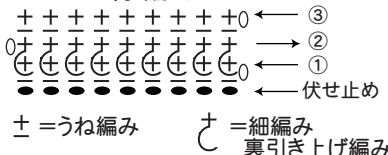
●袖



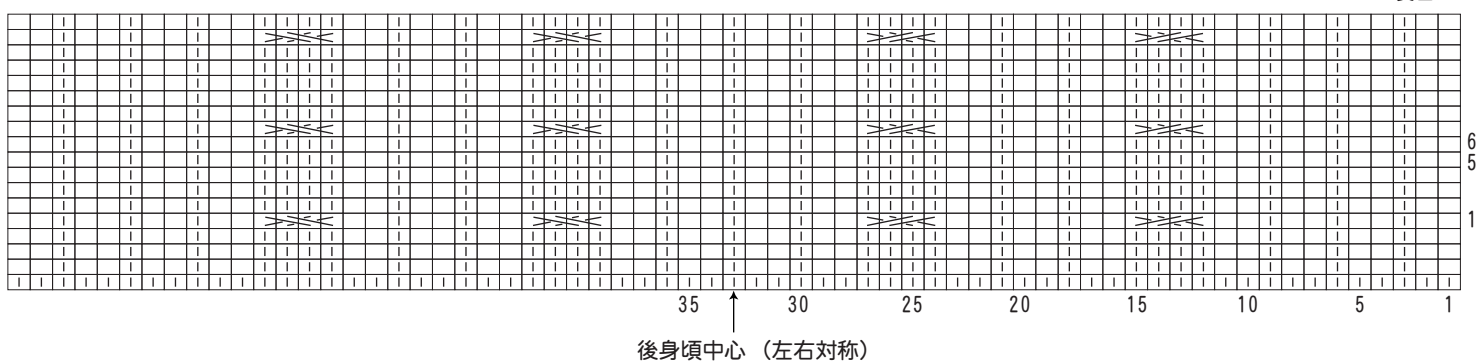
●ポケット



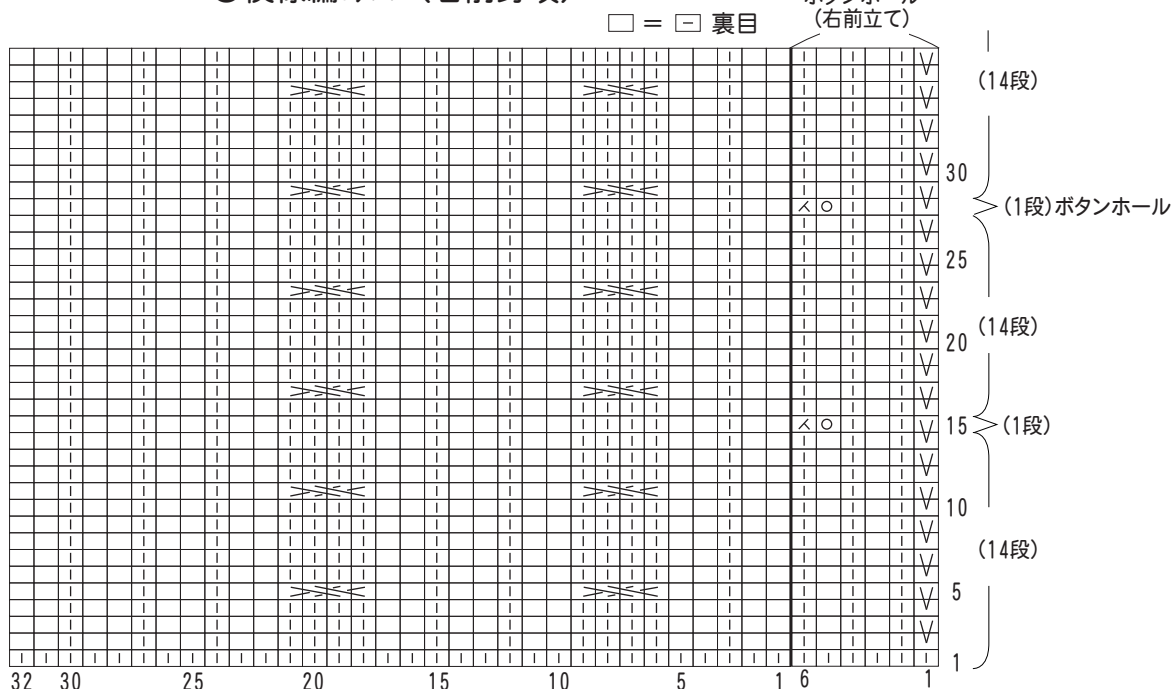
縁編み



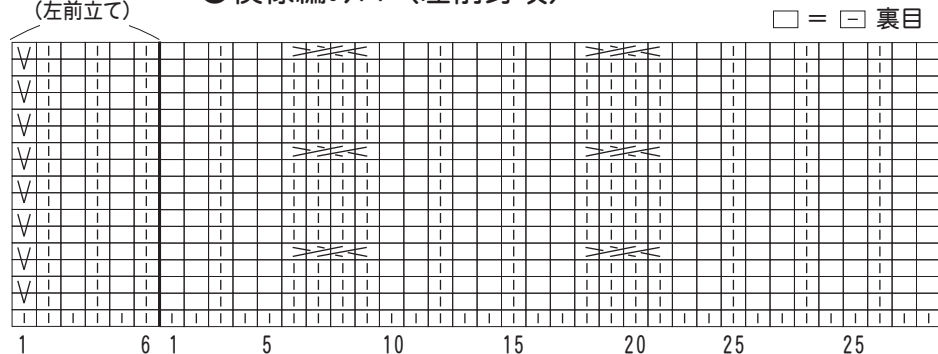
●模様編みA (後身頃)



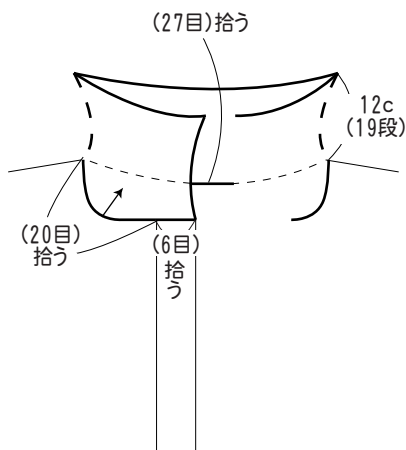
●模様編みA (右前身頃)



●模様編みA (左前身頃)



●衿 (1目ゴム編み) 15号針



●模様編みB (袖)

